

小川香料おおいた視察研修



4月28日(金)佐伯市米水津にある株式会社小川香料おおいた佐伯農場にて研修を行いました。食農ビジネス科3年生22名が参加しました。株式会社小川香料は県外企業で本県の農業に異業種として参入し、令和3年3月にレモン栽培を始めました。本校食農ビジネス科は令和3年から小川香料株式会社さんと定期的にレモン栽培や香料に関する学習を行っています。今回は、栽培と香料学習の一環で幼木時の摘花作業を体験しました。レモンの摘花作業は、細かな作業でしたが、集中力を切らさず頑張っていました。今回摘花したレモンの花は、抽出を行い香料となります。次回は本校にて、香料に関する学習を行う予定です。

「緑地広場」プロジェクト
佐伯市役所との連携事業



5月9日(火)旧佐伯豊南高校跡地で「緑化広場」プロジェクトが行われました。食農ビジネス科3年草花選択生6名の生徒が参加しました。このプロジェクトは、令和3年度末に佐伯市役所都市計画課から食農ビジネス科と連携し、広場づくりを行いたいということから始まりました。この日は、「クラピア」の定植を地域の方々、つるおか保育所の園児と行いました。晴天に恵まれ、参加した皆さんで500鉢の「クラピア」苗を2時間で植えることができました。順調に生育が進み、地域の方々に愛される公園になることを願っています。草花選択生は、日頃の学習活動で学んだ技術が十分発揮できました。

おすすめ!

授業紹介 選択 果樹



「選択 果樹」では、果樹生産と経営に必要な知識と技術を学ぶ科目です。2年生で科目「果樹」の授業で学んだ知識を活かし、実際に果樹の栽培を通して技術力を高めて行きます。現在選択果樹は4名の選択生が、ブドウ・モモ・イチジク・レモン・クリ・ピワなどの栽培を行っています。今年度、選択生は少数ですが持ち前のチームワークで、手際よく管理作業を行っています。選択果樹で学んでいることは、各個人の課題研究の栽培にも役立っています。

果樹部門ブドウ紹介

○現在ブドウの品種は、7,000種類以上あり日本では100種類以上の品種が栽培されています。本校でも長年ブドウ栽培を行っています。

○本校のブドウ栽培品種と特徴

- ①シャインマスカット(緑系、平均糖度:18度)収穫時期:9月頃
- ②シナノスマイル(赤系、平均糖度:18度)収穫時期:9月頃
- ③ピオーネ(黒系、平均糖度17度)収穫時期:8月下旬頃
- ④ナガノパープル(黒系、平均糖度18度)収穫時期8月下旬頃

○ブドウは他の果樹に比べ、細かな作業や作業内容が多く、栽培は大変な果物です。代表的な果実に関する作業内容を紹介します。

- ①花穂整形(房型を決める作業、花の先端3.5cm残す)
- ②ザバリ処理1回目(種無しブドウにするため)
- ③ザバリ処理2回目(果粒を大きくするため)
- ④摘粒(粒を間引く作業。果粒を大きくする・粒や房の形を整える)
- ⑤袋掛け(病気・害虫予防、減農薬栽培のため)

1房1房丁寧に時間をかけブドウは出来上がっていきます。丹精込め出来上がったブドウは、購入することもできます。希望の方は、学校までお問い合わせください。【問い合わせ先】佐伯豊南高校果樹部門:松本まで TEL0972-22-2361